

報道関係各位

文部科学省「成長分野を支える情報技術人材の育成拠点の形成(enPiT^{エンピット}※)」の選定について

岩手県立大学では、筑波大学を中核拠点とした8大学との連携により、情報技術を高度に活用して、社会の具体的な課題を解決する人材育成機能を強化し、**産学協働による課題解決型学習（PBL※）等の実践的な教育を推進する標記補助事業(ビジネスシステムデザイン分野)**に申請（申請期間：5/27～31）していたところ、このたび**7月21日付けで選定**されましたのでお知らせします。

※【enPiT】Education Network for Practical Information Technologies【PBL】Project Based Learning

記

1 取組名称

ICT を活用する IoT 時代のイノベーション人材育成のための ビジネスアプリケーション/システムデザイン実践教育ネットワーク

2 取組概要

ICT を柔軟に活かし、IoT をはじめとする進化を続ける先端情報技術や情報インフラにおけるこれからの社会やビジネスニーズに対し、**アプリケーション開発技術やシステムデザインの素養を活用して、実践的な問題解決を自発的に行えるイノベティブな人材を育成**するため、**9大学が連携し地域性や特徴を活かした PBL を主体とする実践的なカリキュラムフレームワークを整備、実施し、これに基づく教育ネットワークを構築**することでビジネスシステムデザイン分野の実践教育の全国的な展開を目指すもの。

3 参画大学

◎筑波大学、室蘭工業大学、埼玉大学、愛媛大学、琉球大学、公立はこだて未来大学、**岩手県立大学**、会津大学、産業技術大学院大学（計9校の共同申請、◎は申請代表校 [中核拠点]）

4 事業実施期間

平成 28～32 年度の 5 年間

5 補助金予定額

年間上限 80,000 千円 ※このうち中核拠点大学から各連携大学に必要額配分

6 岩手県立大学の取組予定<ソフトウェア情報学部>

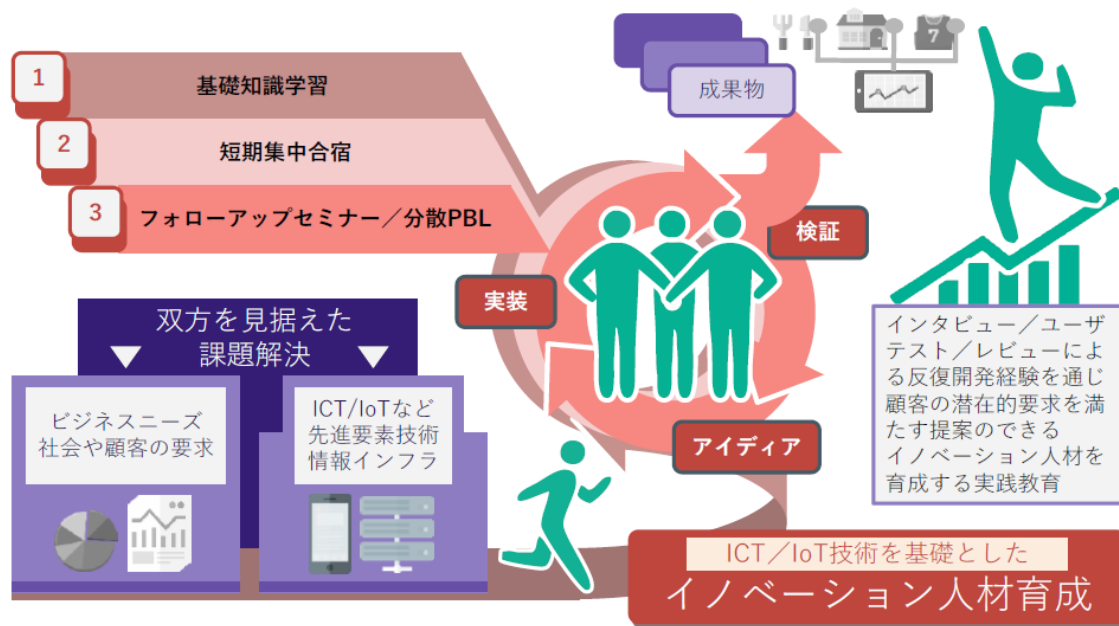
- ・平成 28 年度 科目の新設を含む**カリキュラム・教材開発**
- ・平成 29 年度～ 各大学が連携し、**基礎知識学習、短期集中合宿、PBL**等の実践教育を推進
※滝沢市IPUイノベーションセンター入居企業との連携（演習、アドバイス等）

【問合せ先】岩手県立大学 研究・地域連携室 TEL 019-694-3330 土井尻、澤本

参考

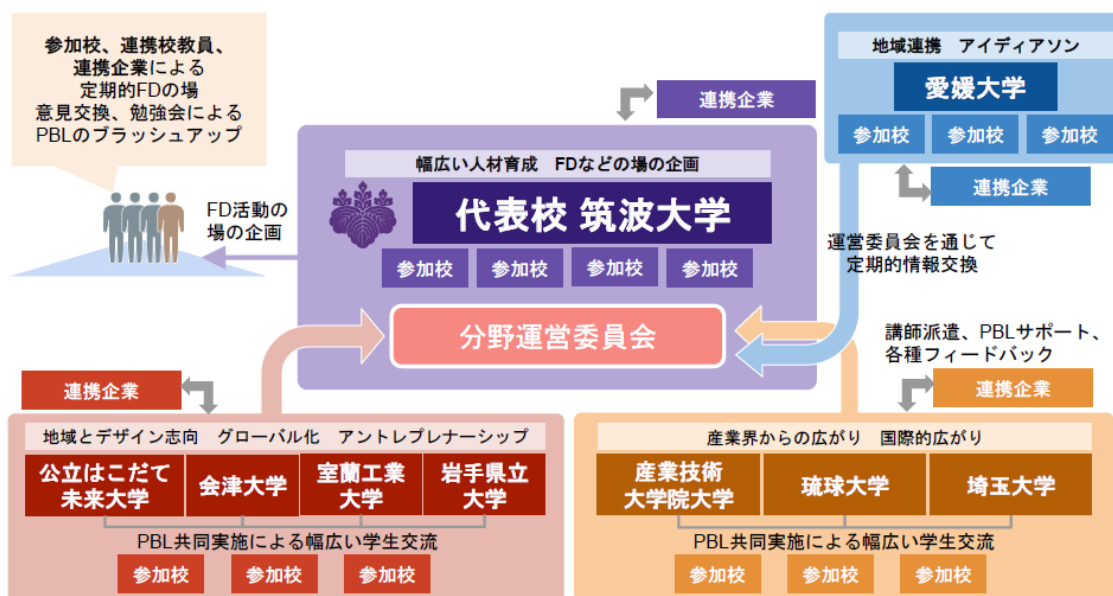
1 育成する人材像

ICT を柔軟に活かし、IoT をはじめとする各種の先進システムに深く精通し、かつこれらの構成に必要な要素技術を適切かつ実用的に活用することで、実社会におけるさまざまな課題やニーズに応えることができるビジネスアプリケーションやシステムデザインを自ら提案、開発できるイノベティブ人材を養成する。さらに、本プログラムの実施を通じて、PBL 型の実践教育フレームワークを主体的に担当できるとともに、複数の大学が参加する教育ネットワークにおいてもこのフレームワークを展開可能な教員の養成につなげる



2 連携体制

分野内の円滑な連携のために、9連携大学の教員、連携団体・企業の代表から構成される運営委員会を設置し、ビジネスシステムデザイン分野に関わる運営方針や運営上の必要事項の決定を行う



※FD(Faculty Development): 大学教員の教育能力を高めるための実践的方法、大学の授業改革のための組織的な取組方法